

谷相新聞

発行
中央東農業振興センター
0887-53-3039

紙面

集落座談会を開催
水稲栽培研究会を開催
交流稲栽培研究会を開催
青ネギ栽培講習会を開催
直販部会を開催

この新聞は、中央東農業振興センターが、谷相集落で発行したもので、活動の地域を、谷相集落の皆さんに紹介するため、作成したものです。

みんなで創る谷相地区

中央東農業振興センターでは、香美市、土佐香美農協と連携し、谷相地区をモデル集落として、集落営農活動への支援を行っています。

これまでの集落座談会やアンケートで、「農地を守っていくためには、まず『米』から話し合おう」との合意を得て、平成二十一年二月に「谷相地区集落営農組合」が設立され、「エコファーマー」「農作業受委託組織の設立」「所得向上に向けたアジサイ栽培や直販活動」に加え、新たに「青ネギ栽培」「交流」の取り組みが始まりました。

集落座談会を開催！

七月十五日に谷相公会堂において、集落座談会を開催しました。

座談会では、「水稻栽培研究会」ほか四部会から取り組み状況の報告を行いました。また、八月から始まる共同防除や交流活動について検討を行いました。

谷相集落ビジョンにある「米を中心とした交流」については、初めての取り組みであり、『プレ交流会』としてどうか「景色もよい所なので散策してはどうか」等意見が出されました。その結果、座談会とは別に、各部会から委員を募り「交流専門委員会」を立ち上げて検討することになりました。

各部会からの取り組み報告

『谷相オペレーター組合』

六月二十九日 農作業受委託の受け付け開始
七月七日 中山間地域集落営農等支援事業で共同防除機等の導入
六月十七日 共同防除については、初めての取り組み

となるので、役割の明確化やスケジュールについて話し合いを行った。

『水稻栽培研究会』

八月三日 水稻の現地検討会を行い、生育状況や病害虫発生状況について確認予定

『アジサイ栽培研究会』

六月十六日 物部のアジサイほ場における現地研修会が開催され、谷相から十二名が参加した。

六月二十三日 昨年はアジサイのありつきが悪く、新たにほ木の確保を行い挿し木を行った。定植を十月に予定している。

『直販部会』

毎月勉強会を行っている。

七月十日 現地を巡回し、ニンジン等の栽培状況を確認した。普段は見ることがない互いのほ場で工夫している所を見ることができ参考になった。また、ほ場を巡回するなかで谷相の良さを改めて確認することができた。

『青ネギもっかる会』

四月二十八日 青ネギ栽培講習会、四戸が栽培に取り組むことになった。

五月二十日に苗の確保、二十五日・二十六日に定植



集落座談会



共同防除作業



アジサイ現地研修会



直販部会現地検討会



交流専門委員会



青ネギ苗調整作業

「交流専門委員会を開催！」

八月五日、十七日、九月十一日に谷相公会堂において、交流専門委員会を開催しました。

検討の結果、「またきいや谷相へ」をスローガンに十一月八日(日)に交流会を開催することになりました。

専門委員会では、当日の役割分担や散策マップやガイドの内容、昼食のレシピについて検討を行いました。

交流会の内容については、谷相のおいしいお米の味を知ってもらうための「おにぎりづくり」や地域の良さを知ってもらうための「谷相の散策」のほか「稲わらリースづくり」

「もち投げ」を行う予定です。参加費用は、大人2千円・小学生千円で先着二十名とし、直販所へのポスターの張り出しや市の広報等で呼びかけを行います。

次回は、十月三十日に「第四回交流専門委員会」を開催し、稲わらリースやかまどでの炊飯等を行い、最終確認を行う予定です。

直販部会を開催！

八月二十一日に谷相公会堂で、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、ホウレンソウの栽培と海外での農産物の栽培状況について学習を行いました。参加者からは「タマネギの貯蔵性をよくするにはどうしたらよいか」「ニンジンの発芽がよいのはなぜか」など多数の質問が出されました。

九月十四日には、「これであなたも売り上げアップ！同じ野菜もお化粧しだいでもっと美人になる」と題して直販用出荷野菜等の荷姿講習を行いました。

「韭生の里」や他の直販所に出荷されている商品の写真を参考に、参加者全員で荷姿について検討しました。参加者からは、「見栄えを良くしようと透明な袋に変えると、質の悪い野菜はもっと見栄えが悪くなるから、良い品を入れないかん」、「袋を変えたら、経費もかかるので代金も考えんといかん」「何度か研修を受けて、今まで自分が出荷していた野菜の量が多いことがよくわかった」等の意見が出されました。

十月二十日には、玉ネギの定植の講習を兼ねて、現地検討会を計画しています。

水稻栽培研究会を開催！

八月三日、五日、二十五日に谷相の水稻ほ場及び谷相公会堂において「水稻の生育状況」「水稻の病害虫発生状況」について検討を行いました。七月下旬にいち等の発生を受けて防除を実施していたため、実証ほ場では病害虫はほとんど発生していませんでした。

参加者からは、「七月に雨が多かったので紋枯れが出ているところがある」「ヒノヒカリはイモチに弱い品種か？」「出穂の見分け方は？」等多数の質問が出されました。

また、共同防除については、九月五日に作業が終了し、のべ十ヘクタール（十九戸）の防除を行いました。



清水川クラブとの交流会



水稻現地研修

清水川クラブとの交流会！

八月二十三日に谷相公会堂において、清水川クラブ（高知市領家集落）と谷相地区集落営農組合の交流会を行いました。清水川クラブは、高知市の中山間地域で集落の戸数は四十三戸（うち専業農家三戸）の集落です。

清水川クラブからは、集落営農に取り組んだきっかけや水稻関係の農作業受委託の内容、料金、直販部会の取り組みについて多数の質問が出されました。

交流会の開催！

十一月八日に、「またきいや谷相へ」と題し、谷相集落の散策やおにぎりづくり等を内容とした交流会を開催します。谷相地区の皆さんと関係機関が一体となつてこの交流会を成功させたいと思っていますので、交流会のお手伝いができる方は是非ご協力をお願いします。

【連絡先】

谷相地区集落営農組合

組合長 前田泰生

Tel 59-33357

座談会や研究会に参加しよう！

地域の皆さんの参加がないと「始まらん」会ですので、今まで参加された方も、途中からの参加はしにくいと思っていられつしやる方も、皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

**【お知らせ】**

●交流専門委員会：10月30日

●直販部会（現地巡回）：

10月20日

●「またきいや谷相へ」（交流会）：11月8日

【集落営農組織とは】

ひとつの農家では解決できない地域の農業のいろいろな問題を、集落のみんなと知恵と力を出し合って解決し、集落づくりにつなげていくことです。

『谷相地区集落営農組合』

『咲かそう・実らそう谷相の夢』をスローガンに、集落の維持発展をめざして「谷相地区集落営農組合」が平成21年2月10日に設立しました。皆様には、平成21年4月に市の広報とともに設立についてお知らせをしています。谷相地区集落営農組合の役員等をご紹介します。

【組合役員】

組合長	前田 泰生
副組合長	前田 和也
会計	前田 晴夫
監事	前田 定男
監事	前田 克也
機械オペレーター担当	前田 藤博
機械オペレーター担当	後藤 重治
園芸担当	小松 喜美子
直販担当	前田 大 志

【各部会代表者】

谷相オペレーター組合	小松 重治
水稻栽培研究会	小松 重治
アジサイ栽培研究会	前田 晴夫
直販部会	大 島 美都志
青ネギも かる会	前田 英男
交流専門委員会	前田 泰生

発 行： 中央東農業振興センター
農業改良普及課

連絡先： 香美市土佐山田町加茂 777

TEL：0887-53-3039

FAX：0887-53-5140